

松本みつひろの維新八策



減税

個人都民税の50%減税(年間6,225億円、納税義務者一人あたり7.7万円)を実現します。家計を支援すると同時に、減税を手段とした行財政改革、減税を手段とした東京の経済成長を実現します。

行財政改革・情報公開

「東京版DOGE構想」、「都の情報は都民のもの」、事業評価制度の強化など

出産・子育て支援

都のベビーシッター利用支援事業の複数時保育対応、結婚相談所の活用促進など

住宅政策

専有面積80㎡以上の住戸供給に対する容積率緩和、住宅取得・維持コスト軽減など

教育政策

動画や生成AIを活用したアクティブラーニングの促進、「反転授業」の導入など

都市政策

荻窪駅南北自由通路の設置、デジタル技術を活用した歩きたばこ防止策など

福祉・医療

高齢者の経験と能力を社会に還元する仕組み作り、移動負担軽減など

改革の出発点 - 統治機構改革

上記の政策も、権限と財源を移譲し、区が区民の声を聞いた上で実施することを理想とし、統治機構改革に取り組みます。

政策の詳細



区議会議員時代の取組と改革の状況



松本みつひろプロフィール

1983(昭和58)年9月1日生まれの41歳。早稲田大学法学部卒業後、株式会社リクルートに新卒入社。SUUMOで約9年、転職後もITの営業部門を歴任。2019年5月から杉並区議会議員(2期)。維新・無所属議員団幹事長、保健福祉委員会委員長などを歴任。2009年杉並区荻窪に転入、11年転勤で仙台へ。その後札幌勤務を経て15年に戻り、以降荻窪に暮らす。2012年に結婚した妻、2018年生まれの子供2人(男児6歳、2022年生まれの子供2人)の娘2歳の5人家族。著書『子どもの虐待はなくせる！』『リクルートOBのすごいまちづくり 議員という仕事』(共に共著)

私たちも
応援しています!!

日本維新の会 代表
吉村洋文

参議院議員
やながせ裕文

杉並区議会議員
鈴木ちづる



日本維新の会 公認
松本みつひろ
41歳